

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

| | | | |
|--|------------------------|------------|------------------------------|
| コース名 | 女性対象コース | | |
| 事業名 | 社会復帰を目指す子育て中の女性向け実践的講座 | | |
| 法人名 | 学校法人コア学園 | | |
| 学校名 | 唐津ビジネスカレッジ | | |
| 代表者 | 理事長 門田 章 | 担当者 連絡先 | 校長 木原 厚二 Tel 0955-77-1771 |
| 1. 事業の目的 | | | |
| <p>潜在的に、子育て等で就業を中断した女性の多くが、社会復帰を求めている。現在の急激な経済環境の悪化から、企業は雇用を維持するためにワークシェアリングを試み、給与削減や経費節減等で生き残りを賭けている中、働き手である夫の収入は減る一方で、妻の収入に益々頼らざるを得ない状況がある。今回の事業の目的は、子育て中の女性のために、教育プログラムを開発し、講座を実施することであるが、受講の機会を設けるためには、経済的にも精神的にも安心して受講できる配慮が欠かせない。そして、限られた日数・時間の中で、再就職するために必要とされる技術を効率よく学び、実務能力を身につける。一つはICTであるが基礎力の証としてPC検定試験の資格取得を目指す。二つにはICTの応用力であり、ケーススタディをより多く準備し、企業が求めているICTの即戦力を身につける。三つには、コミュニケーション能力であり、学習とOJTと実演を繰り返し、スキルアップを目指す。四つには社会復帰のために、社会制度・社会情勢を再認識し、就職対策を通じ、モチベーションをアップすることである。また、子育て中の受講者に対し、希望者には相談の上、準備保育を含め、託児所を紹介する。託児費用は今回の事業で予算化し、一人でも多く受講できる環境を提供する。</p> | | | |
| 2. 事業の実施に関する項目 | | | |
| ①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間） | | | |
| <p>子育てにより就業を中断した女性に対しての就職率は高いものではない。この講座を開催するにあたりこのスキルアッププログラムにて再就職を目指す女性を支援するカリキュラム作成を行うことにした。</p> <p>●講座名 子育て中の女性向けIT・コミュニケーションスキルアップ講座</p> <p>●授業時間数 講義240時間 内訳、専門科目（168H）、ビジネス科目（30H）、外部講義（2H）、OJT（20H）、卒業制作・発表（17H）、その他入校式等（3H）</p> <p>●開設期間 平成21年11月20日（金）～平成22年2月26日（金）約3ヶ月</p> <p>1）科目</p> <p>・IT基礎科目：ワード・エクセル・パワーポイントの基本操作をマスターすることを目標にし、検定試験合格を目指した。</p> | | | |

- ・IT 応用科目：インターネット、メールなどのネットワークを利用したものを扱う場合の講義を行った。一般家庭、ビジネスにおけるインターネットの利活用を考え講義を行った。OS、アプリケーション、メモリ、インストールなど基本となる用語、操作方法を確認してもらった。また、ファイル共有の利用方法、便利な点、そうでない点などの講義を行った。
 - ・コミュニケーション科目：人との接し方、コミュニケーション技術を学んだ。新聞のコラムを参考にし、受講者もコラムを書くなどの取り組みをした。詩や文章を読み、人をもてなす心、感謝の気持ちなどを考える講義を行った。
 - ・ビジネス能力・就職対策：ビジネス能力ではコンセンサス演習、プレゼンテーション、ケーススタディを行う。
履歴書の作成、模擬面接を行った。自分の欠点、正しいマナー、受講者同士のよいコミュニケーションにもなり好評であった。
 - ・トークスキル・OJT：トークスキルについて講義を行った。主に日本語の使い方、自分がいかに間違った言葉を使っているのかを再認識させる内容。OJT 研修ではコールセンターの場を借り、実習を行った。
- 2) 資格試験 日商PC検定(文書作成)3級、日商PC検定(データ活用)3級
- 3) 成果物 資格取得状況報告書、受講者のアンケート、成果発表時の評価報告書、研究成果(発表資料)

②受講者の募集方法(手法・期間・効果)

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1) 受講者の募集方法

記者リリース、折込広告、ポスター掲示による一般公募を行う

- ・折込広告(せんでん虫 2009年10月9日1回)
- ・行政放送(チャンネルからつ)で子育て支援情報センターよりお知らせ
- ・ポスター掲示(NPO 法人子育て支援情報センター、フリービット株式会社等)
- ・前年度受講者15名へ封書による口コミの案内依頼
- ・記者リリース(平成21年11月10日唐津市役所内記者室にて記者リリース)

応募期間 10月1日～11月12日

2) 受講者の選抜方法・選考経過

- ・応募数 29人

定員20人のところ、29人の応募があったため、下記の方法で選考試験を行った。

- ・説明会及び選考会の実施

平成21年11月13日

- ・託児所要否・ITスキル調査(アンケート) 開始前(10分)
- ・面接 9:10～13:00(5人単位時間設定し、一人ずつ実施)
- ・選考会議

上記選抜試験の結果を踏まえ、総合的に判断した結果、20人を選抜した。合格者には当日中(11月13日)に試験結果を通知した。

また、託児所の利用希望者には入校式前のならし保育を通知した。

| |
|---|
| ③受講者の状況 |
| <p>受講者20人の内訳は下記の通りである。 女性20人の年齢層は20代1人、30代10人、40代9人 いずれも受講開始時点では、ほとんど子育て中の専業主婦18人の他、2人は土日アルバイトの契約（プライダル、リクルート支援）で働いていた。</p> |
| ④受講者の意識調査等 |
| <p>アンケートによる総合的な受講者の満足度は下記の通り、大好評であった。 大変満足：15人（75%） やや満足：5人（25%） 学ぶ事の喜びを得たこと。受講者同士の絆の醸成。特に家族がお互い助け合う関係がより緊密になり、より良い関係が生まれた。</p> |
| ⑤受講後の状況（修了者数・就職率） |
| <p>受講者20人中、全員が規定の出席時間数に達したため、学校独自の修了書を交付した。 入校時には受講者の大半が就職を意識していなかったが、講座修了直前ではパソコン技術や就職・コミュニケーション等を学び直したことで、就職活動を行い、5人が就職した。</p> |
| 3. 事業の評価に関する項目 |
| ①当初目的の達成状況 |
| <p>受講者全員が講座の内容に大変満足しており、講座の内容は当初の目的を達成した。しかし、多くの受講者は就職では日曜日休日や残業の少ない事務系を希望しており、競争率が高く厳しい状況がある。</p> |
| ②事業の成果及び改善点 |
| <p>前回の子育て中の女性向けの講座の改善点として下記の3つがある。 ○講座時間を増やす。（200時間→240時間） ○受講者の受け入れ人数を増やす（定員15人→定員20人） ○IT応用科や資格取得対策を増やし、カリキュラムを充実した。 以上を改善した結果、以下の成果をだすことに繋がった。</p> <p>（1）資格取得 受講者はIT初心者が約半数を占めていたが、非常に意欲的に取り組み、一ヶ月の後半から講座終了まで補習者が8割を占めるようになった。終盤のPC検定試験は、受講者20名中、日商PC検定試験に20名が受験し、日商PC検定（文書作成）3級受験20名中合格者16名、日商PC検定（データ活用）3級受験18名中合格者12名で、有資格者が17名となった。受講者は意欲的に取り組んだ結果、高い合格率となった。</p> <p>（2）OJT（オンザ・ジョブ・トレーニング） 講座の終盤にコールセンターのプロの講師をお呼びし、トークの基本から、リスニング、話法、クレーム対応を学習し、ロールプレイングを行う。その中で、コールセンター内を</p> |

見学後、実地体験（リスニングなど）を実施した。このことで、コールセンターに就職をチャレンジしたい受講者が増え、就職意欲が高まった。

（３）研究発表会・成果報告会

講座の最終日、受講者一人一人がテーマを決め、PowerPoint を活用したプレゼンテーション（発表会）を行う。絵本の紹介、故郷の紹介、趣味の紹介、子どもの紹介まで、審査委員からは短期間に仕上げたものとは思えないくらい、どれも画像を使って分かり易く、説得力があり、良い出来映えとの評価をいただく。

（４）受講者のニーズにあった教育プログラム

受講者は、託児所、保育園、幼稚園、児童クラブに子どもを預けながら、一人の脱落者もなく20名全員が無事修了式を迎えることができた。このことは、3ヶ月間の講座でも、時間帯を配慮し、託児相談に載れる環境や託児経費負担を軽減すれば、十分受講が可能であることが証明できた。また、受講者の最終アンケート調査からも伺えるが、講師の資質も含め、パソコンの基礎から資格取得、及び社会人としての基礎から実践的（OJT）なことまで学べ、受講者のニーズ（社会復帰、再就職等）に沿った教育プログラムであったことが証明された。

（５）就職

この講座をきっかけに就職をしたいという意欲が高まり、受講中に就職活動始める受講者も見られた。修了時に5名の受講者の内定が決まり、その他の受講者も就職活動中である。

③次年度以降における課題・展開

引き続き、NPO 子育て支援情報センター、市（男女参画共同）、商工会議所、ICT企業と連携し、開発した教育プログラムを委託訓練や独自講座の付帯事業として展開し、再就職に繋げて行く予定である。しかし、雇用の場は非常に限られており、雇用の場を創造することを検討している。具体的には、ある企業（NTT系）の主催する資格を取得し、規定の有料の講座を受けると在宅でコールセンター業務につくことができる制度である。ハードルはいくつかあるが、地方でも広がりを見せており、弊社が働く場の提供を支援することで、就業に繋げたい。

④成果の普及

11月20日に行われた入校式では地元メディアは唐津ケーブルテレビジョンの取材があり、当日夕方からニュース放映された。また、得られた成果は実績報告書にまとめ、佐賀県等自治体の関係部署、関係企業・団体に資料を配布する他、本講座の入校式から修了式まで、弊社のお知らせサイトに随時掲載し、普及につとめた。